

創立理念

幼児教育は人間形成の基盤を培う生涯唯一度の教育である

幼児がこの教育を受ける権利は全ての幼児の基本権として尊重され保障されなければならない

1. 本園の教育～3つの柱～

基礎体力・体験学習・思いやりの心

2. 本年度の重点目標

《教育の質向上》

- ・職員一人ひとりが教師としての自覚と責任をもち、研修などに積極的に参加し向上心をもって日々の教育に務める。
- ・本園の教育方針（心と身体と知恵の調和の教育）と3つの柱に基づき、子どもたちがのびのびと過ごせるように個々のかかわりを大切にしながら新しい取り組みを増やしていく。

3. 評価項目の達成及び取組状況

	評価項目	評価	取組状況
1	教育の3つの柱が育つ教育の実践	A	日々の遊びやクラス活動、イベントの中に自然と組み込まれており、さらに教師一人ひとりが“3つの柱”を意識しながら総合的に実践できた。
2	開かれた幼稚園づくりの実践	B	今まで制限されていた活動やイベントは少しずつ再開できるようになってきたが、今後はより多くの保護者さまにも見学などを通し、クラスの様子を見てもらえるようにしていく。
3	一人ひとりの個性を生かす教育の実践	B	様々な体験活動を行い、個々の好きなことや得意分野を発見できるよう取り組む。さらに職員間での情報共有や本園の公認心理師の助言を受け、一人ひとりのかかわりを大切に、実践できるよう意識していく。
4	豊かな環境を生かした教育活動の実践	A	毎年、年度初めにピオトープで様々な体験活動ができるような計画を考えており、子どもたちが自由参加できるようにしている。

4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	どの項目も日々の遊びやクラス活動、全体でのイベントなどを通して概ね達成できているが、今後も教師間での情報共有を欠かさずクラス差が生じないよう教師一人ひとりが意識しながら努めていく。また、一人ひとりの個性を生かせるよう、毎日子どもたちとのかかわりを大切に、教育の実践に繋げていく。

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	基礎体力	現代の運動能力低下の課題に沿って様々な体験や経験を通し、運動能力の強化を目指していく。
2	食育とSDGs	自分たちで野菜を育てたり、クッキングをしたりと食育を通して少しでもSDGsに繋がられるよう、子どもたちと教師が意識しながら食への興味・関心、感謝の気持ちをもつ。
3	危機管理	様々な場面を想定した避難訓練の強化。 園庭や園内の設置物について子どもたちと話し合い、幼児の発達に沿った環境構成を見直すとともに、園児自身の危機管理能力を高めていく。